

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：浜田一哉

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収 書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
4. 24～ 4. 26	4. 24 13:30～ 15:30	① 富山県 富山市	富山市役所	富山市活力都 市創造部都市 計画課 高月企画係長 他	コンパクトシ ティの取り組 みについて	413、414、 415、416、 418
	4. 25 10:00～ 12:00	② 石川県 志賀町	志賀町役場	稲岡町長、山下 総務課長他	能登半島地震 の被害状況と 復興復旧状況 について 現地視察及び 調査	
	4. 26 10:00～ 11:30	③ 大阪市 北区	鳥取県 関西本部	森本本部長他	大阪・関西万博 への取り組み 状況について	
5. 26	11:30～ 12:50	境港市 T-400 格納庫	航空自衛隊 美保基地	富崎司令、美保 基地協力会 ■ ■会長他	令和6年度 美保基地航空 祝賀会出席	507
5. 30	10:00～ 16:00	鳥取市	県庁	各執行部	6月定例会に向 けての調査	511
8. 3	13:30～ 16:30	米子市淀江町	さなめホール	プラネタリー ヘルス・イニシ アティブ ■ 代表、■京都 府立大学客員 教授他	プラネタリー ヘルスと世界 における参院 の役割（講演 会）ネイチャー ポジティブ視 点に立った医 食農連携と観 光の可能性（パ ネルディスカ ッション）	801
8. 4～ 8. 7	8. 4 17:00～ 17:30	境港市	境夢みなとタ ーミナル待合 ホール	亀井副知事、佐 々木県国際航 路戦略監他	訪韓団結団式	805、806
	8. 5 10:00～ 17:00	韓国東海市 江陵市、平昌郡	東海港国際旅 客ターミナル、 東海市庁、江原 経済自由区域 庁他	東海シム・ギョ オン市長、五大 営農組合法人、 パブリカ生産 者他	歓迎式典、市長 及び江原経済 自由区域庁面 談、パブリカ生 産地視察	807、808 809、810 811

	8.6 15:00～ 17:30	釜山	釜山新港広報館、釜山港湾公社	釜山港湾公社 部長他	現地視察及び 意見交換会	
8.19	7:25～ 14:30	東京都	とっとり・おかやま新橋館、内閣官房、国土交通省、防衛省、衆参国会議員会館	堀田本部長他、室田内閣審議官、青木（参）廣瀬技監、石破・衆、赤沢・衆、大和防衛政策局長	県及び米子・境港市議会防衛議員連盟合同要望活動	814
9.3	10:00～ 15:00	鳥取市	県庁	各執行部	9月定例会に向けての調査	902
10.19	10:30～ 12:00	鳥取市	鳥取県民体育館	各競技団体、知事他関係執行部等	ねんりんピック開会式出席	1009
11.14	10:30～ 16:00	東京都	海運ビル2階ホール、参議院会館、衆議院会館、内閣府、国土交通省	国土交通省、県選出国會議員	中国横断自動車道岡山米子線整備促進総決起大会参加、県選出国會議員面会、国土交通省要望活動	1105 1111 ～
11.19	10:00～ 16:00	鳥取市	県庁	各執行部	12月定例会に向けての政務調査	1112
11.20	10:00～ 15:00	鳥取市、湯梨浜町	県庁、栽培漁業センター	水産振興局長他、栽培漁業センター所長他	12月一般質問に向けての聞き取り調査	1112
2.3～2.4	10:00～ 17:00 (両日共)	鳥取市	県庁	各執行部	2月定例会に向けての政務調査	1112

活 動 報 告 (県 外 ・ 国 外)

議員名： 浜田一哉

活 動 事 項	① 富山市におけるコンパクトシティの取組について ② 能登半島地震の被害状況と復興復旧状況について ③ 大阪・関西万博への取組状況について
活 動 年 月 日	① 4月24日(水) ② 4月25日(木) ③ 4月26日(金)
場 所	① 富山県富山市 富山市役所 ② 石川県羽咋志賀町 志賀町役場 ③ 大阪市北区梅田 鳥取県関西本部
活動の相手方	① 富山市活力都市創造部都市計画課 高月企画係長 ② 志賀町稲岡町長、山下参事兼総務課長他 ③ 森本本部長他
活 動 の 目 的	① 早期からコンパクトシティを目指してきた富山市の現状や成果等について研究し、人口減少に歯止めがかからない地方都市の在り方や方向性、周辺地域との連携等について調査する。 ② 本県が支援先となっている、また県民とも関係性の深い志賀町の被害状況を視察し、大規模災害時の対応や復旧復興についての課題や対応策など取組について今後に生かす。 ③ 2025年開催予定の関西万博について、本県の戦略や取組状況、達成度等の進捗についての調査。
活 動 の 内 容	① 富山市におけるコンパクトシティの現状について ② 志賀町の被害状況や復興等の状況について話を聞き、現地を視察した。 ③ 関西万博に向けたパビリオンへの誘客や鳥取県への誘客戦略等について関西本部の取組状況について話を聞いた。
活動の結果等	① 富山市は、平成20年代から人口減少を見据え、コンパクトなまちづくり推進してきた。特徴的な取り組みの一つとしてLRT(次世代路面電車)を活用した交通網の利便性が向上し、周辺地域とのアクセス向上や渋滞の緩和につながり、人口を分散させ周辺地域をベッドタウン化し、都市機能をより充実させることが出来、人口増加につながったとのこと。本県についても市街地と周辺地域とのあり方について参考になる事例ではないかと考える。 ② 発災から約5か月が経とうとしているが、安心できる居住空間は依然確保できていない状況である。罹災証明の発行に相当な時間を要しているため、解体すら進まない状況であるとのこと。復旧には今後相当な期間を要するのではないかと感じた。水道の復旧も3月に入ってからとのことで、未だに給水車も見受けられた。生活に必要なライフラインの確保は最も重要な要素であり、大規模地震が発生した際に備えて既設設備の状況調査や耐震改修等リスクヘッジは不可欠であり、本県においても取組みをされているが、優先順位を定めて更に加速する必要があると認識した。

	③ PR 活動やパビリオン設営等、関西万博出店に向けた多大な経費に見合った成果を期待する。また、誘客については、万博閉会後に成果を検証することも今後の取組に有効な手段を見出せるものと考え
関連領収書番号	413, 414, 415, 416, 418

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名： 浜田 一哉

活 動 事 項	韓国視察
活 動 年 月 日	8月4日(日)～8月7日(水)
場 所	韓国(東海市、釜山港等)
活動の相手方	東海市(シム・ギョオン市長) 五大営農組合法人、パプ리카生産者、釜山港湾公社(部長)
活 動 の 目 的	・国際定期貨客船イースタンドリーム号の運航再開にあわせ、初便で東海市や江原経済自由区域庁等を表敬訪問し、境港の利用促進を図るためのPR活動を行う。また、これまで輸入実績のあったパプ리카生産地を視察し意見交換を行う。 ・境港とも関係性が深い釜山新港を視察し、釜山港湾公社との意見交換を実施する。
活 動 の 内 容	別紙参照
活動の結果等	DBSクルーズ社が撤退し、トゥウォン商船(株)が5年ぶりに航路を復活した。この航路には、当初から県をはじめ中海・宥道湖・大山圏域市長会も支援しており、サービス面や乗船料金、想定している貨物等についてこれまでとの比較や、今後の取り組み等についてトゥウォン商船 社長と面談した。現在、韓国ではトレッキングやサイクリングが人気であり、弓浜半島のサイクリングロードや大山はとても魅力があり、今後の集客に自信をのぞかせておられた。東海市長も航路について要望があれば、支援を惜しまないと熱意を示された。 運航継続について、集客はもちろん大事だが積み荷の確保が大きなカギとなる。インとアウトの両面から市場調査する必要がある。今後は食を中心にトライアル輸送を試みる必要があると考える。また、料金設定についても他航路の輸送コストと比較する必要がある。 世界有数のハブ港である釜山新港や釜山港湾を訪問し、境港の今後の可能性について意見交換を行った。釜山港は韓国の国家プロジェクトで成長した港であり、境港とは規模も港の持つ役割も異なる部分はあるが、連携すれば互いに成長することが出来ることはあるはずとの意見があった。
関連領収書番号	803、805、806、807、808、809、810、811

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名： 浜田一哉

活 動 事 項	県及び米子・境港市議会防衛議員連盟合同要望活動
活 動 年 月 日	8月19日(月)
場 所	東京都 とっとり・おかやま新橋館、内閣府、参議院会館、国土交通省、衆議院会館、防衛省
活動の相手方	東京事務所細田係長他、内閣官房、国土交通省、防衛省、関係国会議員
活 動 の 目 的	・とっとり・おかやま新橋館の視察 ・境港における特定利用空港・港湾の認定に向けた要望活動
活 動 の 内 容	・とっとり・おかやま新橋館の取組状況についての意見交換を行う ・米子・境港両市議会防衛議連と合同で、各関係省庁、佐藤、青木参議院議員、地元選出国会議員を訪問し、特定利用空港湾の指定に向けた要望活動を行う
活動の結果等	・とっとり・おかやま新橋館では、まず入り口で大栄スイカが目に入った。そのほかの県産品やお菓子等多数の商品が陳列され、おおむね好評とのこと。その他にも多様なイベント事業にも取り組んでいるとのこと。更には鳥取県への誘客や移住にもつながる事業にもチャレンジしてほしいなど意見交換を行った。 ・鳥取県議会防衛議員連盟及び米子、境港両市議会防衛議員連盟の代表者と共に関係省庁、関係する国会議員や地元選出国会議員を訪問し現状と必要性について意見交換し要望書を提出した。 いずれの省庁及び国会議員事務所においても、防衛体制の強化については、大規模災害時及び原子力災害時、また南海トラフ等太平洋側で災害が発生した際の受け皿としての体制強化を図る必要性があるとの共通認識を得ることができたが、特に内閣官房国家安全保障局や防衛省では強く共感が得られた。 今回初めて、地元の米子・境港両市議会と共に要望活動ができたことは、早期実現に向け大変有意義であった。
関連領収書番号	814

ファクシミリ連絡票

令和6年8月9日（金）

宛先 浜田一哉 先生

(FAX : 0859-44-1578)

件名 防衛議員連盟の要望活動について

お世話になります。

鳥取県議会事務局の村中です。

野坂副議長の依頼を受け、次のとおり国要望を調整中ですのでご承知ください。

- 1 要望内容 ※要望書は別添のとおり
境港の「特定利用空港・港湾」への指定に向けた要望活動
《想定する要望先》
 - ・内閣官房長官（内閣官房 国家安全保障局）
 - ・国土交通大臣（港湾局、海上保安庁）
 - ・防衛大臣（地方防衛局、総務課）
 - ・参議院議員 佐藤正久
 - ・衆議院議員 石破茂
 - ・衆議院議員 赤沢亮正
 - ・参議院議員 舞立昇治
 - ・参議院議員 藤井一博
 - ・参議院議員 青木一彦
- 2 日時 令和6年8月19日（月）
※飛行機は次の便を村中が手配済み。都内はハイヤー2台借上げ。
（往路）米子 07:25発 ⇒ 羽田 08:45着（ANA382）
（復路）羽田 18:10発 ⇒ 米子 19:30着（ANA387）
- 3 参加者
鳥取県議会棒遺影議員連盟 齊木会長、野坂副会長、浜田（一）幹事長
境港市議会・米子市議会防衛議員連盟
会 長 米村一三（境港）
副会長 渡辺 穰爾議員（米子）
幹事長 加藤文治議員（境港）
幹 事 松本晶彦議員（境港）
事務局長 吉井巧議員（境港）
会計監査 奥岩浩基議員（米子）
会計監査 荒井秀行議員（境港）

鳥取県議会事務局調査課 村中 和彦

〒680-8570 鳥取市東町1-220

電話 [REDACTED] FAX 0857-26-7461

E-mail [REDACTED]

要 望 書

我が国周辺では、中国、北朝鮮、ロシアが軍事力を増強しつつミサイル発射や軍事的示威活動を急速に拡大活発化させ、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している。また、日本海では外国漁船による違法操業や日本漁船の拿捕の脅威がある。

さらに、近年は地球温暖化に伴う自然災害の頻発化や激甚化が起きており、昨年8月の台風第7号では県内に甚大な被害をもたらした。本年1月に能登半島地震が発生するなど、日本列島は地震活動期に入り、死者32万人と想定される南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくない状況である。加えて、島根原子力発電所の再稼働も迫り、大規模災害を含む各種事態への備えは喫緊の課題である。

一方、境港は、日本海側で海上自衛隊舞鶴基地と佐世保基地の中間に位置する港湾法上の重要港湾で、弓ヶ浜半島の先端に位置し自然条件に恵まれた山陰地方随一の良好な港であり、環日本海地域の交流拠点、北東アジアゲートウェイとして、大型の貨物船やクルーズ船が入港している。また、米子鬼太郎空港、山陰道、米子道と接続し、陸海空の交通ネットワークによる迅速な機動展開が可能な港であるとともに、周囲に航空自衛隊美保基地、陸上自衛隊米子駐屯地、航空自衛隊高尾山分屯基地、境海上保安部及び海上保安庁美保航空基地があり、防衛体制強化の基盤として極めて重要である。

さらに、境港を中心とする本地域は、警戒、搜索救難・人命救助の拠点となっている。本県では、毎年、境港を使った原子力防災訓練を実施しており、海上自衛隊及び海上保安庁の艦船による住民避難訓練を行い、境港の重要性をよく認識しているところである。大規模災害時及び原子力災害時には、弓ヶ浜半島のみならず、島根半島を含む山陰地方（鳥取県、島根県）の避難及び防災上の重要な拠点となる。特に、南海トラフ地震が起きた場合には、山陽側に対する重要な支援拠点となることが見込まれる。

こうした現状を踏まえ、国会並びに政府におかれては、境港について特定利用空港・港湾の指定を早期に行い、大規模な災害や安全保障環境を踏まえた対応を実効的に行うため自衛隊・海上保安庁の艦船が平時から運用や訓練等に円滑に利用できるように、大型艦船の円滑かつ安全な入港や輸送能力向上の整備や機能を強化することを強く要望する。

活 動 報 告（県外・国外）

議員名：浜田一哉

活 動 事 項	中国横断自動車道岡山米子線整備促進議員連盟
活 動 年 月 日	令和6年11月14日（木）
場 所	海運ビル 2 階ホール、参議院議員会館、衆議院議員会館、内閣府、国土交通省
活 動 の 相 手 方	国土交通省（山本道路局長他）、鳥取県選出国會議員
活 動 の 目 的	・中国横断自動車道岡山米子線整備促進総決起大会参加 ・鳥取県選出国會議員面会 ・国土交通省要望活動
活 動 の 内 容	・中国横断自動車道岡山米子線（蒜山～境港間）早期実現のため決起大会に参加する。 ・石破、赤沢代議士事務所及び青木、舞立、藤井参議院議員事務所へ表敬訪問し、要望活動を行う。 ・国土交通省道路局長他関連する担当課に表敬訪問し、早期実現に向けて要望活動を行う。
活 動 の 結 果 等	毎年恒例となっている要望活動だが、今回は石破内閣が誕生し赤沢経済再生担当大臣、青木官房副長官がそれぞれ要職に就任されたことから、国土交通省の各担当課からは好感触を得ることが出来た。国会議員の方々とも直接本人と面談し、要望活動できたことは大きな成果であった。 一刻も早く、米子・境港間の高規格化の事業凍結を解除し事業化となるよう、これからが正念場であると考え、まずは計画段階評価への手続きを進めていただくとともに、今後も関係自治体や米子、境港市議会とも連携して高規格道路の必要性について一層議論を深めていくよう行動していくことが必要である。
関連領収書番号	1105～1111